

所 属	総合企画部 地域振興課		
担当(係)名	振興担当	内線	2436

新 豪雪地における冬期生活の安全・安心を支援 ～冬期集住を検討～
 <長期構想推進重点政策枠事業>

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
900	一般財源 900	旅費 428(先進自治体等調査)
(前年度 0)		

2 背景・現状

人口減少が続く山間過疎地では、医療・福祉、商店など社会的機能や地域コミュニティが衰退し、特に豪雪地では雪下ろしなどができず安全・安心に生活できない独居高齢者が多くなっていることから、冬場の生活を守る手段の構築が求められている。

3 事業目的

山間過疎地において、住み続けられるための社会的機能やコミュニティのあり方を示し、特に豪雪地の冬の生活を守るための方策(冬期まちなか集住)を構築する。

* 冬期まちなか集住・・・積雪を原因とする家屋崩壊や除雪の負担の軽減、閉じこもりを回避するため、冬期間、地域の中心地に集まって暮らすといった新たな居住形態。

4 事業概要

山間過疎地域における集落の現状を調査し、過疎地域に暮らす人々の安全と安心を守り、住み慣れた地域で暮らすことができるよう「拠点地域の機能維持」や「冬期集住」などのあり方を検討する。

山間過疎集落の現状に関する調査

- ・ 山間過疎地域(いわゆる限界集落)の現状を把握するためアンケート調査を実施。

冬期まちなか集住促進協議会(仮称)の設置

- ・ 冬期集住など住民の生活支援を検討する市町村や関係団体とともに協議会を組織し、夏期散居・冬期集住のための拠点地域の整備や支援策、降雪対策等について幅広く検討。

(款)2 総務費 (項)2 企画開発費(目)(2)企画調査費
 (明細書事業名) 人口減少社会対策費
 冬期まちなか集住促進事業費